



平成30年2月23日
海上保安庁

ジブチ共和国において海賊護送訓練等を実施

海上保安庁では、平成30年2月21日～2月23日の間、ジブチ共和国に海上保安監を団長として当庁職員を派遣し、関係機関との間で海賊護送訓練、海賊対策等にかかる意見・情報交換等を実施しました。

海上保安庁では、ソマリア沖・アデン湾での海賊対策として、海賊対処のために派遣されている海上自衛隊の護衛艦への海上保安官の同乗、ソマリア沖・アデン湾の沿岸国海上保安機関に対する法執行能力向上支援等を実施しています。

今回もその一環として、逮捕した海賊の身柄を護送する必要がある場合を想定し、迅速かつ円滑な身柄の護送ができるよう、ジブチ沿岸警備隊と連携して海賊護送訓練を実施しました。

訓練はジブチ沿岸警備隊の全面的な協力により滞りなく実施され、訓練後には、ジブチ国家治安庁及びジブチ沿岸警備隊との間で、海賊情勢・対策に関する意見交換を実施しました。

海上保安庁では、引き続きジブチ沿岸警備隊の法執行能力向上支援等を実施するとともに、法の支配に基づく自由で開かれた安全なインド太平洋海域を実現するべく、関係機関との更なる連携・協力関係を推進していきます。

1 派遣者

岩並 秀一 海上保安監 他8名（関係省庁職員を含む）

2 日程等

平成30年2月20日（火）成田発
21日（水）ジブチ着
22日（木）海賊護送訓練
ジブチ国家治安庁及びジブチ沿岸警備隊との
意見交換
23日（金）ジブチ発
24日（土）成田着

3 ジブチでの海賊護送訓練等



海賊護送訓練（護衛艦から下船）



海賊護送訓練（海賊を護送）



海上保安監による取材対応



ジブチ国家治安庁・沿岸警備隊との意見交換



護衛艦への訪問



ジブチ地域訓練センター視察